

Q&A

読者の質問に答えます!

英語

なるほど

Q&A

井上千尋

(英ベッドフォードシャー大学研究員)



Question

「～した方がよいと思うよ」と言いたいときに、「You should ～」という表現を使ったら、思った以上にきつい言い方をしたと思われてしまったようです。このような場合はどのような表現を使ったらよいのでしょうか?

(広島県・吉田崇史さん)

Answer

「日本語と比べると、英語ではよりダイレクトな表現が好まれる」「あまり表現の丁寧さに気を使わない」などという説を耳にすることがありますが、そんなことはありません。相手に気を使いながら表現を吟味し、失礼のないように意思伝達を図ることが大切なのは、どこの社会でも同じです。

shouldなどの助動詞は、学校英語で必ず習う文法項目ですが、どう使うとどのように受け取られるのか、ということまではなかなか知る機会がありません。

ご質問では、「～した方がよいと思うよ」と伝えなかったのに、思ったよりき

つい言い方だと受け取られてしまったとのこと。詳しい経緯が書かれていないので判断が難しいですが、具体的な状況をいくつか想定して考えてみましょう。

普段、話し相手にアドバイスや提案をするとき、私たちはどのようなことを考慮に入れて表現を選んでいるのでしょうか。まずは、相手が誰かによりますね。どのくらいの親しさなのか、社会的地位関係はどうか。親しい友人に対しては、率直に「～すべきだよ」と言えても、例えば上司や義理の家族となると、もっとやんわりとした言い方を用いる人が多いでしょう。また、自分の方が目上と考えられる立場であっても、アドバイスは押しつけがましくならないように表現を

選ぶことも多々あります。

それから、自分のアドバイスや答えにどのくらい自信があるのかによっても、使う表現は異なってきますね。「絶対に～すべきだよ」から、「～した方がいいかもしれないね」「～するのもアリかも」など、表現によってお勧め度合いにかなりの違いが出てきます。

大まかに言って、shouldを使ってもきつい言い方だと取られないのは、人によって判断が大きく異なる話題で、かつ自分のアドバイスにかなり自信がある時です。

例えば、You should definitely go on a holiday! You've been too busy for the past few months. (絶対に休暇を取るべきだよ! ここ数ヶ月ものすごく忙しかっただでしょう)とか、You should brush your teeth before going to bed. (寝る前に歯を磨くべきです)などという時です。休暇や歯磨きなど、いわゆる「無難」な話題では、強くアドバイスしてもあまり反感を招いたりすることはないでしょうから、shouldを使っても心配ありません。他に、「栄養をちゃんととらなくちゃ」とか、やむを得ない事情で「締め切りを延ばしてもらえるか聞いてみた方がいいよ」などというときもshouldを使えます。

しかし、味の好みやレポートの内容な

ど、人によって判断がかなり大きく分かれる可能性のある話題では、shouldを使うと押しつけがましい人と思われかねません。

例えば「もうちょっとコショウを入れた方がいいと思うよ」という時は、人によって好みは違いますし、言い方を選ばないと反発される可能性もあるので、やんわりとYou might want to add some more pepper. や、It might be a good idea to add some more pepper. というように、「(好みや判断によるけれど)もしかしたら～するとよいかもしれない」という程度のお勧めをする表現を使うのが安全です。

もし、とっさにshouldしか出てこない時は、Perhaps you should try and explain a bit more about X in your report. などと、perhapsを一緒に使うと、表現のダイレクトな感じを和らげることができそうです。

質問募集

このコーナーでは、読者の皆様からの英語に関する質問を募集しています。

【宛先】 〒108-8071

ジャパンタイムズ ST Q&A 係

【fax】 03-3452-3303

【email】 st@japantimes.co.jp